

全ての学友の力で6・5全関西学生連帯総決起集会を大成功させ 私達の要求の実現を阻んでいる「安保」を斗かう自治会を再建し ようではありませんか！！

〔学内集会朝11時40分、決起集会6時扇町、御堂筋デモ行進！〕

(一) すべての学友のみなさん！

政府自民党の反動的な低文教予算をうちやぶり、大学の自治を破壊し独占資本の要請に甘あつた方々に大学を反動的に再編成することを狙つた中教審答申の実質化を阻止するすべからず、並びに、今度の、学長選挙現定改定案にみられるように、依然として、大学の自治、教授会の自治、という考えをすてき水ず政府自民党の大学自治破壊の攻撃に無批判な態度をとつてゐる当局を正しい態度にあらためさせるすべからず、そして何よりも重要な、これらの一連のなから生れてくる私達の不満や要求を解決してゆく自治会を再建しようてはありませんか。

(二)

すべての学友のみなさん。私達の種々な、正当な要求の実現を阻んでいるのは一体、何んなのてしようか。私達の切実な要求を無視してゐるのは何んなのてしようか。これは、日米安保体制ではないでしようか。具体的な例をあげましょう。今秋から着工される文系合同校舎には四百名、二百名収容の大教室を作る予定があり、文系学友にとって切実な問題である学生研究室が何んら保障されていません。当局は、現在のマスプロ教育を前提し、さらにマスプロ教育を強化せよといひてゐるのてしようか。そのとおりです。中教審中間報告には、教育の合理化、マスプロ化が公然とうたわれてゐます。このように、答申、中間報告が大学を反動的に再編し、日米安保体制をさらに強化する策動の一環として出されてきたこと、そして、私達の切実な要求も実現するためには政府自民党の低文教政策をたてかねなければならぬことを確認できるのなら、私達の斗かいは、西文求実現を阻んでいる安保条約を廃棄する斗争へと向上していかなければならぬのではなからうか。

(三)

学友のみなさん！

法学部委員会が中心となつて進められてゐる自治会再建の署名運動、要求斗争をさらに発展させるなかで、自治会を早急に再建し、要求、大学と安保条約の関連を深く考え、自治会に結集して安保条約を廃棄する運動を展開しようてはありませんか。全学連支井会議は、すべての学友のみなさんにとり早急に自治会を再建して自治会のもとで、6・3固定期限終了日には、統一した全学的規模の斗かひをもつて、大阪府民としての歴史的使命を知らせ、日米反動勢力に断固とした態度を示すことをしませう。と訴へたいと思ひます。学友のみなさん、自分のクラスやサークルで安保につひの系統的な学習討論を始め、祖四日本の道路を自らの手によつて切りひらく道を追求してゆきませう。更に学習、討論で得た成果を自治会再建の運動と結合させ6・3も、自治会に結集して、全学的に統一して、また全日学友と連帯して斗かおうてはありませんか。全日学友と連帯した統一行動を行なうことによつて、全日主戦力の統一戦線を促進させるうて先進的役割をはたすことが、私達学生に課せられてゐる。光榮ある任務ではないのてしようか。

全学連支井会議